

大学・高専機能強化支援事業（支援 2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【大学 一般枠、特例枠】実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F112110102337	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（一般枠）
大学名	千葉大学	設置区分	国立	事業計画名	千葉大学における先導的データサイエンス技術者の育成
学校種	大学	都道府県	千葉県		

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和5年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞4人、＜修士＞50人、＜学士＞87人 融合理工学府数学情報科学専攻情報科学コース（博士後期課程） 入学定員4人 融合理工学府数学情報科学専攻情報科学コース（博士前期課程） 入学定員50人 工学部総合工学科情報工学コース 入学定員79人 3年次編入学定員8人 6月 情報・データサイエンス学府情報・データサイエンス専攻 研究科設置報告書提出（令和6年4月設置） 6月 情報・データサイエンス学部情報・データサイエンス学科 学部設置報告書提出（令和6年4月設置）	【情報系組織の入学定員】＜博士＞4人、＜修士＞50人、＜学士＞87人 融合理工学府数学情報科学専攻情報科学コース（博士後期課程） 入学定員4人 融合理工学府数学情報科学専攻情報科学コース（博士前期課程） 入学定員50人 工学部総合工学科情報工学コース 入学定員79人 3年次編入学定員8人 6月 情報・データサイエンス学府情報・データサイエンス専攻 研究科設置報告書提出（令和6年4月設置） 6月 情報・データサイエンス学部情報・データサイエンス学科 学部設置報告書提出（令和6年4月設置）	R5年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
	① 8月～3月…情報・データサイエンス学府（後期3年博士課程）／学部設置に向けた準備 ② 8月～3月…情報系学生の定員増に伴う講義室等の改修の調整・実施（竣工予定日：3月） ③ 8月～3月…情報系学生の定員増に伴う什器類の購入に向けた調整・納品	① 8月～3月…情報・データサイエンス学府（後期3年博士課程）／学部設置に向けた準備 ② 8月～3月…情報系学生の定員増に伴う講義室等の改修の調整・実施（竣工予定日：3月） ③ 8月～3月…情報系学生の定員増に伴う什器類の購入に向けた調整・納品		
令和6年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞10人、＜修士＞50人、＜学士＞108人 4月 情報・データサイエンス学府情報・データサイエンス専攻 開設予定（入学定員10名） 4月 情報・データサイエンス学部情報・データサイエンス学科 開設予定（入学定員100名、3年次編入学定員8名）	【情報系組織の入学定員】＜博士＞10人、＜修士＞50人、＜学士＞108人 4月 情報・データサイエンス学府情報・データサイエンス専攻 開設予定（入学定員10名） 4月 情報・データサイエンス学部情報・データサイエンス学科 開設予定（入学定員100名、3年次編入学定員8名）	R6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
	① 4月～3月…情報・データサイエンス学府（後期3年博士課程）／学部の設置・運営（情報・データサイエンス学部・学府担当実務家教員3名、情報・データサイエンス学部担当教員4名、計7名雇用） ② 4月～3月…新学部／学府における教育研究実施のための体制整備（初年度） ③ 4月～3月…情報系学生の定員増に伴う学生室等の改修の調整・実施（竣工予定日：12月） ④ 4月～3月…情報系学生の定員増に伴う什器類の購入に向けた調整・納品	① 4月～3月…情報・データサイエンス学府（後期3年博士課程）／学部の設置・運営（情報・データサイエンス学部・学府担当実務家教員3名、情報・データサイエンス学部担当教員4名、計7名雇用） ② 4月～3月…新学部／学府における教育研究実施のための体制整備（初年度） ③ 4月～3月…情報系学生の定員増に伴う学生室等の改修の調整・実施（竣工予定日：12月） ④ 4月～3月…情報系学生の定員増に伴う什器類の購入に向けた調整・納品		
令和7年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞10人、＜修士＞50人、＜学士＞108人		○年度自己評価	リストから選択してください。
	① 4月～3月…情報・データサイエンス学府（後期3年博士課程）／学部の運営・教育研究実施（情報・データサイエンス学部・学府担当実務家教員3名、情報・データサイエンス学部担当教員4名、計7名雇用） ② 4月～3月…新学部／学府における教育研究実施のための体制整備（2年目） ③ 7月～3月…情報・データサイエンス学府（博士前期課程）設置に向けた検討			

令和8年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞10人、＜修士＞50人、＜学士＞108人		○年度自己 評価	リストから選択してください。
	① 4月～3月…情報・データサイエンス学府（後期3年博士課程）／学部の運営・教育研究実施 （情報・データサイエンス学部・学府担当実務家教員3名、情報・データサイエンス学部担当教員4名、計7名雇用） ② 4月～3月…新学部／学府における教育研究実施のための体制整備（3年目） ③ 4月～3月…情報系学生の定員増（学年進行）に伴う学生室等の改修工事の調整・実施 （竣工予定日：12月） ④ 4月～3月…情報系学生の定員増（学年進行）に伴う什器類の購入に向けた調整・納品 ⑤ 4月～3月…情報・データサイエンス学府（博士前期課程）設置に向けた調査実施・書類作成			
令和9年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞10人、＜修士＞50人、＜学士＞108人		○年度自己 評価	リストから選択してください。
	① 4月～3月…情報・データサイエンス学府（後期3年博士課程）／学部の運営・教育研究実施 （情報・データサイエンス学部・学府担当実務家教員3名、情報・データサイエンス学部担当教員4名、計7名雇用） ② 4月～3月…新学府／学部における教育研究実施のための体制整備（4年目） ③ 4月～3月…情報・データサイエンス学府（博士前期課程）設置に向けた準備			
令和10年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞10人、＜修士＞50人、＜学士＞108人		○年度自己 評価	リストから選択してください。
	① 4月～3月…情報・データサイエンス学府／学部の運営・教育研究実施 （情報・データサイエンス学部・学府担当実務家教員3名、情報・データサイエンス学部担当教員4名、計7名雇用） ② 4月～3月…新学府／学部における教育研究実施のための体制整備（5年目）（初年度）			
令和11年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞10人、＜修士＞50人、＜学士＞108人		○年度自己 評価	リストから選択してください。
	① 4月～3月…情報・データサイエンス学府／学部の運営・教育研究実施 （情報・データサイエンス学部・学府担当実務家教員3名、情報・データサイエンス学部担当教員4名、計7名雇用） ② 4月～3月…新学府／学部における教育研究実施のための体制整備（2年目）			

令和12年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞10人、＜修士＞50人、＜学士＞108人		○年度自己 評価	リストから選択してください。
	① 4月～3月…情報・データサイエンス学府／学部運営・教育研究実施 （情報・データサイエンス学部・学府担当実務家教員3名、情報・データサイエンス学部担当教員4名、計7名雇用） ② 4月～3月…新学府／学部における教育研究実施のための体制整備（3年目）			
令和13年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞10人、＜修士＞50人、＜学士＞108人		○年度自己 評価	リストから選択してください。
	① 4月～3月…情報・データサイエンス学府／学部運営・教育研究実施 （情報・データサイエンス学部・学府担当実務家教員3名、情報・データサイエンス学部担当教員4名、計7名雇用） ② 4月～3月…新学府／学部における教育研究実施のための体制整備			
令和14年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞10人、＜修士＞50人、＜学士＞108人		○年度自己 評価	リストから選択してください。
	① 4月～3月…情報・データサイエンス学府／学部運営・教育研究実施 （情報・データサイエンス学部・学府担当実務家教員3名、情報・データサイエンス学部担当教員4名、計7名雇用） ② 4月～3月…新学府／学部における教育研究実施のための体制整備			

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	千葉大学
-------------	-------	-----	------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	☒ チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	☒ チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和5年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
	<table><tr><td>確認を受けている</td><td>☒ チェック</td></tr><tr><td>対象に該当しない</td><td>☐ チェック</td></tr></table>	確認を受けている	☒ チェック	対象に該当しない	☐ チェック	
確認を受けている	☒ チェック					
対象に該当しない	☐ チェック					
②	志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
④	特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑤	計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					

⑥	特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。	
	計画通りに進んでいる	☒ チェック
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。	
	計画通りに進んでいる	☒ チェック
⑧	教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）	
	既設の情報系分野に係る研究科等を有する	☒ チェック
⑨	機構による事業計画の選定があった日から2年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる	☒ チェック
⑩	計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）5名以上の入学定員の増員を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる	☒ チェック
⑪	国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第5期中期目標期間終了時までには他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない	☒ チェック
⑫	教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。	
	計画通りに進んでいる	☒ チェック
⑬	文部科学省が実施する数理・データサイエンス・A I 教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	
	認定を受けている、又は対象に該当しない	☒ チェック
	認定を受ける計画が進んでいる	☐ チェック

⑭

文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

認定を受けておらず申請する意向もない

■

チェック

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和5年度 の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
新学府のカリキュラムにおいて開講する、スタートアップ概論 A、スタートアップ概論 B、スタートアップ トレーニングⅠ、スタートアップ トレーニングⅡでは、「スタートアップ創出」、「アントレプレナーシップ教育」などの起業についての講義、ワークショップ、グループワークを行う。この講義の講師として、地域の企業からも講師を派遣してもらい、地域の企業と連携した教育を実践する。また、地域の企業からデータを提供してもらい、実践的なデータ解析を試みるPBLの実施も検討している。さらに、千葉市産業振興財団や千葉大学学術研究・イノベーション推進機構と連携して、情報・データサイエンス分野に関わる地域の企業との共同研究や、アドバイスの実施などを行い、地域企業との連携強化を行う。	新学府で開講するスタートアップ概論A等における「スタートアップ創出」「アントレプレナーシップ教育」等の起業に関する講義について、地域内を含む企業のゲスト講師の参画、ワークショップ及びグループワークを実施するための準備を進めた。令和6年度より新学部・学府が設置されることから、次年度以降、従前の工学部における実施内容及び学年進行による科目の準備・開設状況を踏まえ、地域内を含む企業と連携した教育実践、実践的なデータ解析を試みるPBLの実施及び、企業との共同研究の実施について検討を行う予定である。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
千葉大学工学部では、カリキュラム開発や高大接続推進を目指して、千葉市立千葉高等学校と高大接続事業に関する協定書を平成27年度に締結しており、継続的な模擬講義等を行っている。この協定を新学部及び学府にも広げ、連携強化を行う。さらに、令和4年に策定された千葉県県立高校改革推進プランにおいて、情報教育の充実のために、千葉県立袖ヶ浦高等学校・情報コミュニケーション科に先端ITコース(仮称)が令和6年度に設置される予定であり、このコースを中心に情報教育の連携を行う予定である。	千葉県立袖ヶ浦高校と情報教育に関する連携を進めるため、連携のあり方やその内容等について情報交換を行った。令和6年度より新学部・学府が設置されること等を踏まえ、次年度以降、工学部で行っている連携を拡充しつつ、千葉県立千葉高等学校との協定書の見直しの検討を行うとともに、情報教育に関し、千葉県立袖ヶ浦高等学校との更なる連携の在り方について検討を行う予定である。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
新学府の女子学生の確保に向け、後期3年博士課程学生の奨学金における女子優先枠の設置を行うことを目指す。この女子優先の奨学金制度を高校生や大学生にも広報することにより、博士号取得へのキャリアパスを早くから示し、優秀な女性科学者、女性研究者の育成に繋げる。また、新学部の令和7年度特別選抜より、学校推薦型選抜において女子枠（15名）を設置し、情報・データサイエンスに興味をもつ優秀な女子学生を確保する。これらの取組により、情報・データサイエンス分野において、大学院へ進学及び社会で活躍する女性の割合を増やすことを目指す。 また、留学生の確保として、新学府の入試において、海外在住受験者のオンライン面接の実施により、受験のための来日の負担を減らし、優秀な大学院生を確保する。さらに、千葉大学工学部・大学院融合理工学府で実施しているアジア圏の大学との交換留学プログラムである「アジア学生ワークショップ」を新学部及び学府でも実施し、後期3年博士課程学生の確保を目指す。また、新学部においても私費外国人留学生選抜を実施し、優秀な留学生の確保を行う。	新学部において、令和7年度学校推薦型選抜入試（定員30名（うち女子枠15名））の実施に向け、募集要項及び具体的な選抜方法等の検討を進めるとともに、令和6年度私費外国人留学生入試を実施した（最終的に2名の留学生が入学）。また、新学府の入試において、日本国外在学で学力検査当日に来学が出来ない等の者に対し、必要に応じてオンラインで面接が出来るよう、要件を設けることとした。 次年度以降、新学府の奨学金の女子枠について、今後実施される入試の出願者・入学者等の検証を進めながら、規模感を含めて検討を進めるとともに、「アジア学生ワークショップ」について新学部及び学府に拡充して募集を行う予定である。 また、JST国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）次世代AI人材育成プログラムに採択・支援（5名/年）を行うこととしており、当該プログラムの実施を通じて女子学生及び留学生の確保につなげる予定である。	

④ 他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
千葉大学工学部・大学院融合理工学府では、木更津工業高等専門学校及び小山工業高等専門学校と教育研究交流全般に係る連携推進のために協定を締結している。この協定を新学部及び学府にも広げ、「入試等における情報の相互交換」、「研究プロジェクトや外部資金獲得のための共同申請」、「講演会・シンポジウム等開催への相互協力」、「科学技術教育の情報交換」、「単位相互認定の検討」などの連携を進める。また、千葉工業大学との単位互換制度や、放送大学、千葉圏域コンソーシアム、国内留学プログラム等での単位互換制度を実施する。 全員留学を含めたグローバル化を進めるため、大学間・部局間協定等による学生交流を推進する。	令和６年度より新学部・学府が設置され、また、令和８年度より3年次編入の受入が始まるため、それに合わせて協定の拡充等の必要な検討を進めることとしている。また、全員留学を実現させるため、従前工学部で締結していた協定を、内容に応じ新学部にも拡充する準備を進めるとともに、全学で実施している留学プログラムに参画することとしている。	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	千葉大学
-------------	-------	-----	------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	☒ チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	☒ チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
	<table><tr><td>確認を受けている</td><td>☒ チェック</td></tr><tr><td>対象に該当しない</td><td>☐ チェック</td></tr></table>	確認を受けている	☒ チェック	対象に該当しない	☐ チェック	
確認を受けている	☒ チェック					
対象に該当しない	☐ チェック					
②	志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
④	特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑤	計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	千葉大学
-------------	-------	-----	------

計画通りに進んでいる	☒ チェック	
------------	--	--

⑥

特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。		
計画通りに進んでいる	☒ チェック	

⑦

社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。			
計画通りに進んでいる	■ チェック		

⑧

教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）		
既設の情報系分野に係る研究科等を有する	■ チェック	

⑨

機構による事業計画の選定があった日から2年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。		
計画通りに進んでいる	■ チェック	

⑩

計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）5名以上の入学定員の増員を行う計画であること。			
計画通りに進んでいる	☒ チェック		

⑪

国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第5期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。		
計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない	☒ チェック	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	千葉大学
-------------	-------	-----	------

⑫

教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。		
計画通りに進んでいる	☒ チェック	

⑬

文部科学省が実施する数理・データサイエンス・A I 教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。		
認定を受けている、又は対象に該当しない	☒ チェック	
認定を受ける計画が進んでいる	☐ チェック	

⑭

文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。		
認定を受けておらず申請する意向もない	☒ チェック	

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
新学府のカリキュラムにおいて開講する、スタートアップ概論 A、スタートアップ概論 B、スタートアップ トレーニングⅠ、スタートアップ トレーニングⅡでは、「スタートアップ創出」、「アントレプレナーシップ教育」などの起業についての講義、ワークショップ、グループワークを行う。この講義の講師として、地域の企業からも講師を派遣してもらい、地域の企業と連携した教育を実践する。また、地域の企業からデータを提供してもらい、実践的なデータ解析を試みるPBLの実施も検討している。さらに、千葉市産業振興財団や千葉大学学術研究・イノベーション推進機構と連携して、情報・データサイエンス分野に関わる地域の企業との共同研究や、アドバイスの実施などを行い、地域企業との連携強化を行う。	新学府にて、スタートアップ概論A等の「スタートアップ創出」「アントレプレナーシップ教育」等の起業に関する講義を開講し、地域内を含む企業等のゲスト講師の参画、ワークショップ及びグループワークを行った。 次年度以降、従前の工学部における実施内容及び学年進行による科目の準備・開設状況を踏まえ、地域内を含む企業と連携した教育実践、実践的なデータ解析を試みるPBLの実施及び、企業との共同研究の実施について検討を行う予定である。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
千葉大学工学部では、カリキュラム開発や高大接続推進を目指して、千葉市立千葉高等学校と高大接続事業に関する協定書を平成27年度に締結しており、継続的な模擬講義等を行っている。この協定を新学部及び学府にも広げ、連携強化を行う。さらに、令和4年に策定された千葉県県立高校改革推進プランにおいて、情報教育の充実のために、千葉県立袖ヶ浦高等学校・情報コミュニケーション科に先端ITコース(仮称)が令和6年度に設置される予定であり、このコースを中心に情報教育の連携を行う予定である。	千葉大学工学部では、千葉市立千葉高等学校との高大接続事業の一環として継続的に模擬講義を行っており、令和6年度は新学部にも拡充して模擬講義を実施した。次年度以降も工学部で行っている連携を拡充しつつ、千葉市立千葉高等学校とも例年行っている協議会にて情報交換等を行って連携を深め、千葉県立袖ヶ浦高校と情報教育に関する連携のあり方についても引き続き検討を行う予定である。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	千葉大学
-------------	-------	-----	------

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
新学府の女子学生の確保に向け、後期３年博士課程学生の奨学金における女子優先枠の設置を行うことを目指す。この女子優先の奨学金制度を高校生や大学生にも広報することにより、博士号取得へのキャリアパスを早くから示し、優秀な女性科学者、女性研究者の育成に繋げる。また、新学部の令和７年度特別選抜より、学校推薦型選抜において女子枠（15名）を設置し、情報・データサイエンスに興味をもつ優秀な女子学生を確保する。これらの取組により、情報・データサイエンス分野において、大学院へ進学及び社会で活躍する女性の割合を増やすことを目指す。 また、留学生の確保として、新学府の入試において、海外在住受験者のオンライン面接の実施により、受験のための来日の負担を減らし、優秀な大学院生を確保する。さらに、千葉大学工学部・大学院融合理工学府で実施しているアジア圏の大学との交換留学プログラムである「アジア学生ワークショップ」を新学部及び学府でも実施し、後期３年博士課程学生の確保を目指す。また、新学部においても私費外国人留学生選抜を実施し、優秀な留学生の確保を行う。	新学部において、令和７年度学校推薦型選抜入試（定員30名（うち女子枠15名））を実施し、女子枠では12名が合格した。一般選抜と合わせて女子学生の入学者は26名となり、前年度の9名から増加した。また令和７年度私費外国人留学生入試では2名の留学生が合格した。新学府の入試では、日本国外在学で学力検査当日に来学が出来ない等の者に対し、インターネット検査の制度を設けた。また、JST国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）次世代AI人材育成プログラムに採択・支援（５名/年）を行い、当該プログラムの実施を通じて女子学生及び留学生の確保につなげた。 次年度以降、新学府の奨学金の女子枠については、学年進行に伴って将来的に博士前期課程を設置する予定であることも踏まえ、規模感を含めて検討を進めるとともに、３年次対象の「アジア学生ワークショップ」について学年進行に応じて新学部にも拡充して募集を行う予定である。	

④ 他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
千葉大学工学部・大学院融合理工学府では、木更津工業高等専門学校及び小山工業高等専門学校と教育研究交流全般に係る連携推進のために協定を締結している。この協定を新学部及び学府にも広げ、「入試等における情報の相互交換」、「研究プロジェクトや外部資金獲得のための共同申請」、「講演会・シンポジウム等開催への相互協力」、「科学技術教育の情報交換」、「単位相互認定の検討」などの連携を進める。また、千葉工業大学との単位互換制度や、放送大学、千葉圏域コンソーシアム、国内留学プログラム等での単位互換制度を実施する。 全員留学を含めたグローバル化を進めるため、大学間・部局間協定等による学生交流を推進する。	令和６年度より新学部・学府が設置され、また、令和８年度より開始する3年次編入学者選抜の整備を行った。また、放送大学、千葉圏域コンソーシアム、国内留学プログラム等の単位互換制度を実施した。さらに、全員留学を実現させるため、全学で実施している留学プログラムに参画するとともに、従前工学部で締結していた協定を、内容に応じ新学部にも拡充する準備を引き続き進める。	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	千葉大学
-------------	-------	-----	------

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

区分	指摘事項等	対応状況
実施状況報告書留意事項 (R6年度)	R6年度入学定員充足率が0.70倍（情報・データサイエンス学府情報・データサイエンス専攻）となっている。入学定員未充足の改善に努めること。	令和6年8月に令和6年10月入学者選抜（第2回）を実施し、2名が本学府に入学したため、令和6年度の入学者は合計9名となり、入学定員充足率は0.90倍となった。

大学名	千葉大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（一般枠）
-----	------	------	---------------------------

本事業対象となる学部等の個数	1
----------------	---

1.本事業対象となる情報系組織の状況

1-3. 学士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	情報・データサイエンス学部情報・データサイエンス学科
-------	----------------------------

[illegible]

大学名	千葉大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（一般枠）
-----	------	------	---------------------------

3－3.学士課程

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	2,317	2,317	2,317																
		入学者数	人	2,363	2,411	2,371																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	0	0	0																
	入学者合計	入学定員(A)	人	2,317	2,317	2,317	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	2,363	2,411	2,371	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.02	1.04	1.02	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	9,732	9,742	9,742																
		編入学定員	人	70	70	70																
		在籍者数(D)	人	10,338	10,408	10,450																
		編入学者数	人	71	73	66																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.06	1.07	1.07																

4.外部資金の状況（全学）

年度			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
項目		単位																			
外部資金獲得額		千円	11,604,451	12,293,517																	

特記事項

情報・データサイエンス学府情報・データサイエンス専攻、情報系組織の博士課程・修士課程及び大学全体の博士課程・修士課程・学士課程のその他の学期の入学定員 0 名は、若干名を示している。
